

昭和六年九月

露領漁業合同案

露領水産組合  
組長 樺山資英

### 北洋漁業合同ノ急務

我帝國ニ於ケル水産業ハ海洋無疆ノ資源ヲ控ヘ國民亦之カ開發ノ特技ヲ具有スル點ヨリ考察シ國家的重要産業ニシテ然カモ國際貸借改善上極メテ重要ナル使命ヲ有スルコトハ夙ニ識者ノ認ムルトコロナリ。

近時水産雜誌事業ノ勃興ニ連レ米國及歐洲方面ニ對スル販路著シク擴大シ前途益有望ナリ是等輸出雜誌中ノ主要製品ハ主トシテ北洋生産ノ鮭鱈及蟹雜誌ニシテ其大部分ハ露領カムサツカ、オコツク海及ビベーリング海ニ於テ生産セラル、モノナリ本來該事業ハ往昔既ニ邦人ニ依テ開發シ、更ニ國運ヲ賭シ獲得シタル光輝アル國家的權益ニ屬シ、之レカ維持伸張ニ關シテハ農林、外務、海軍ノ各省カ對外交渉ニ將又對内統制ニ其ノ保護ト指導ニ俟テ今日ノ盛況ヲ致セシモノナリ、

更ニ世界的消費關係ヨリ考察スルニ輸出ノ益々増大スヘキハ極メテ明白ナル事實ナリ。然ルニ斯カル經歷ト使命ヲ有スル露領漁業ノ現状ハ將ニ累卵ノ危急ニ瀕シツツアリ、即チ相手國タル「ソ」聯邦ハ國家資本主義ヲ奉シテ一般企業ノ國營ヲ原則トシ、極東ニ於テハ漁業十年計畫ヲ樹立シ一九二七年ヨリ一九三一年ヲ其ノ第一期計畫トシ一九三二年ヨリ一九三六年ヲ第二期計畫トシテ、國家自ラ其ノ企畫經營ノ衝ニ當リ終始一貫セル大方針ニ基キ

着々トシテ積極的進出ヲ試ミツツアリ、其ノ結果ハ我カ帝國カ絶大ナル犧牲ヲ拂ヒ貴重ナル歴史ニ依リテ優先的地位ヲ確保セラレタル邦人事業ヲ侵害蠶食シ其ノ販路ヲ奪取シテ北洋水産業ヲ獨占セントスル形勢ニ在リ。

前記「ソ」側ノ計畫ハ概ネ左記形體ニ於テ邦人企業ヲ脅ヤカシツツアリ

(一) 國營企業ノ不當收得ニヨル邦人側既經營漁區ノ奪取

(二) 個人名義ノ下ニ國營企業ノ不當進出

(三) 最低價格不當鈞上ケニ依ル租借料暴騰

(四) 現場ニ於ケル「ソ」側官憲ノ不當取締ト彈壓

之レ等ハ「ソ」側ノ我カ漁業者ニ對シ毎年繰リ返サル驅逐策ノ一端ニ過キス、爲メニ一般營業者ハ恐怖ト不安ノ裡ニ何等ノ對策モ講シ得ス唯個々ニ經營ヲ繼續シ居ル狀態ナリ、斯ク觀シ來レハ何人ト雖モ到底日「ソ」間ノ北洋ニ於ケル漁業ニ於テ遺憾ナカラ我レニ勝算アリト稱シ得ルヤ斯クシテ我カ國家的重要産業ハ「ソ」側ノ進出ニツレ根底ヨリ覆滅サレンコトハ既ニ時日ノ問題ニ切迫セリ。

茲ニ於テカ官民一致速カニ之カ對策ヲ樹立シ對外交渉ハ交渉トシ對內的ニ一大結束ヲナシ企業ヲ合同シ統制スルノ急務ヲ痛感スルモノナリ、之レ合同ヲ主張スルノ第一理由ナリ

即チ露領ニ於テ陸上ヲ根據トスルモノ及公海ニ於テ各種ノ許可漁業ヲ營ムモノ總テ打テ

一團トシ統一スルコトハ對露政策ノ立場上、且ツハ産業合理化ノ見地ヨリ論スルモ極メテ事理ニ適シ急務ナルカ今直チニ之レカ實現ヲ期センコトハ事實上ノ困難尠カラズ依テ其レカ實行ノ第一歩トシテ日「ソ」漁業條約ニ基キ獲得セル漁業權即チ日魯漁業株式會社並ニ個人漁業者ノ租借契約中ノ總テノ漁區ヲ網羅シ以テ企業ノ統制ヲ計ラントスルモノナリ、日「ソ」漁業條約ノ條文ハ日本人タル限り入札ニ參加シ漁區ヲ租借スル自由ノ權利ヲ規定シアルモ、政府ハ苟モ帝國ノ既得權益トシテ條約ヲ締結シタル關係上之レカ經濟的助成トソレカ統制的保持ノ爲メ永遠ニ此ノ權益ヲ擁護スル國策ヲ樹テサルヘカラス、之レ政府ノ徹底的援助ノ必要ヲ主張スル所以ナリ、一方又政府ニ於テハ現有漁區ノ租借ヲ經濟的ニ安定セシムルハ勿論、將ニ開始サレントスル日「ソ」兩國間ノ協定ニ際シ之レ等ノ點ヲ充分考慮スルノ要アリ、

由來、政府カ直接ニ經濟的援助ヲナス事業會社ハ往々ニシテ經濟ト政策ヲ混同スル弊ニ墮スル懼レアルモ、現下ノ露領漁業ノ如キ複雜ナル外交關係ヲ有スルモノハ政府ノ威令ノ下ニ其ノ統制ヲ完全ニ保チ以テ對外政策ノ遂行ヲ期スルコトハ刻下ノ急務タルト俱ニ唯一ノ對露漁業政策ト確信ス

以上ノ理由ヲ以テ速カニ合同會社ヲ設立シ企業ヲ合理化シ生産原價ヲ低下セシメ製品ノ向上國際化ヲ計リ以テ斯業ヲ永遠ニ擁護シ我國ノ經濟界ニ貢獻セントスルモノナリ、

1人 9,000  
 4,900 37分  
 1人 29,000  
 9,000 37分  
 2人 13,500

25,000 1人  
 15,000 1人  
 40,000

合同ノ形式並ニ要旨

一、設立

露領水域現在租借漁區全部ヲ包括スル新會社ヲ設立スルコト

二、資本金

(1) 新會社ノ資本金ヲ四千萬圓トス。 一株金五拾圓也

全額拂込 株式數 八拾萬株トス。

(2) 拂込資本金ノ内壹千五百拾七萬餘圓也ハ現金出資トシ、貳千四百八拾餘萬圓也ハ現物出資トス。

(3) 各當業者ハ新會社ニ、現ニ有スル借區權（既納保證ヲ含ム）、漁網、漁具、漁船、鑪詰工場設備、冷蔵設備、建物、機械器具、船舶一切ヲ提供シ、其ノ價格ニ相當スル株券ヲ受取ルモノトス。

但シ日魯漁業會社以外ノ當業者ニシテ希望アル者ニハ右價格ノ二分ノ一ニ相當スル金額ヲ現金ヲ以テ交附スルモノトス

三、負債ノ決濟

各當業者ノ負債ハ一切新會社ニ於テ繼承セサルモノトス

四、權利及財産ノ評價

新會社ニ提供スル權利及財産ノ評價ニ關シテハ便宜上露領水産組合理事者及若干ノ評  
定委員ヲ選出シ、新會社ノ發起人側ヲ代表スル委員トノ間ニ於テ協議査定スルモイ  
ス  
(4) 漁業權ノ評價ハ當該漁區ノ漁種ノ價值並ニ漁獲標準高ヲ基礎トシ更ニ不當ニ標準高  
低キモノニ對シテハ過去ノ実績ヲ考慮シ定ムルモノトス。

但シ實際買收ニ當リテハ更ニ隣接漁區トノ權衡上適當ニ按配スルノ要アルヘシ。

(5) 鹽詰工場設備、冷藏庫設備、並ニ翌年度ニ繰越スヘキ諸材料ハ別ニ評價シ買收スルモ  
ノトシ各漁區ニ對スル既納保證金及其他漁場海陸ノ設備、既建物、什器、機械器具、  
漁網漁具漁船等ハ一切(1)項ノ評價ニ包含サル、モノナルヲ以テ、之ヲ無償トス(現場  
ニ殘留スルモノ内地ニ持戻リタルモノ等ヲ含ム)

#### 五、優先配當株式

前記現金出資者ニ對シテハ拂込金壹千五百拾七萬餘圓ニ限リ七分以内ノ利付優先配當  
株式ヲ發行ス

#### 六、應募ノ方法

露領水産組合員ニシテ現ニ漁業權ヲ所有セルモノハ現金出資ヲ以テ優先的ニ應募スル  
コトヲ得

#### 七、經營

更ニ又政策的意味ヨリシテ對露漁業交渉問題ノ外ニ合同ノ齎ス利益ハ隨所ニ發見シ得ヘシ  
即チ現場ニ於ケル「ソ」側官憲ノ暴戾ナル取締ニ對抗スル上ニ於テ、又日「ソ」兩國ニ於  
ケル魚類ノ繁殖保護及公益的施設等ヲ實現シ得ヘク日「ソ」間ノ凡テノ事態ヲ有利ニ導キ  
兩國親善ノ素因ヲ形成スヘシ。

其他、研究設備等凡ユル問題ハ合同實現後ニ於テ其ノ實際ニ即シテ實行シ得ヘキモノト信  
ス。

### 合同ニヨル利益

事業ヲ合同シテ經營ヲ合理化セシムルハ、幾多ノ利益ヲ齎シ以テ經費ノ節約ニ及フハ必然ノ結果テアル。茲ニ其ノ主要ナルモノ數點ヲ擧クレハ

#### 第一、經常費ノ節約

例ヘハ日魯漁業會社カ現ニ一三四漁區ヲ經營シ、夫レニ個人漁業者ノ一七四漁區ヲ加ヘテ三〇八漁區トナリ、事業地ニ於ケル陣容ハ倍加スルト雖後方勤務タル國內ノ營業設備ハ若干ノ補充ヲ行フヲ以テ足ル。故ニ經常費ハ非常ナル節約ヲ爲シ得ヘシ。

#### 第二、漁業用品ノ仕入、並ニ船舶ノ雇入、其他一切準備費ノ節約

#### 第三、全漁區ヲ總括セラル、爲ニ生スル利益

其例一、漁獲制限高ノ制定ニ依リテ割當不足ノ漁區ニシテ單獨經營ニハ不利益ナル漁區ト雖モ夫等ヲ數ヶ所合併經營スルニ於テハ經濟的價値ヲ生ス

其例二、陸上根據地ヲ合併經營セハ陸上設備ノ節約ヲ見、送込船並ニ積取船ノ配船上利益アリ。

其例三、漁區ハ廣凡ニ亘ルカ故ニ各漁期ヲ異ニシ且ツ各地方ニ於テ豐凶相違スルコトアリ此場合冷凍運搬船等ニヨリテ原料ヲ輸送シ製造加工スルノ便益アリ

其例四、漁期ノ相違及其豐凶ノ如何ニ因ツテ従業員ヲ轉勤セシメ勞働經濟上至大ノ便益アリ

其例五、單獨漁業經營ノ場合ハ漁業用品並ニ必需品ハ十二分ニ準備シ置ク必要アレトモ  
合同經營ノ場合ハ必要ニ應シテ隨時補給シ得ルヲ以テ豫メ多量ニ準備スルノ要ナシ  
第四、優良製品ノ増加

紅鮭ハ罐詰ニ、鮭ハ冷凍又ハ新巻ニ製造スル利益アリ。

合同ノ結果ハ適當ナル工場及冷蔵庫並ニ冷凍船ヲ使用シ得ルヲ以テ製品ヲ優良化シ其  
數量ヲ増加シ得ル利益尠カラズ、

第五、製品ノ品位統一ニヨル利益

各經營者ニヨツテ相違セル製造方法ハ合同ニヨツテ各々長所ヲトシ製品ヲ統一スルカ  
故ニ販賣上利益多シ

第六、販賣統制ニヨル利益

合同ニヨリ露領製品全部力統一販賣サル、ニ於テハ國內市場ノ市價ヲ維持スル上ニ、  
又海外ニ於ケル外國製品トノ競争上ニ於テ一定セル販賣方針ヲ樹立シ得ヘク、市價ノ  
維持上、利益亦尠カラズ

第七、經營漁區選擇ノ自由、即チ採算不能ノ漁區ハ適當ニ休業スルノ利益。

右ノ外北洋漁業ヲ獨占スル合同ノ齎ス利益ハ其ノ合理化ノ進展ニツレ漸次増大スヘク、蓋シ  
想像以上ノ成果ヲ見ルニ至ルヘシ

新會社ハ經營上有利ト認メタル場合ニハ營業者ヲシテ漁區ヲ代理經營ナサシムルコト  
アルヘシ

八、登記ノ豫定

新會社ハ昭和六年十月末日迄ニ設立ノ準備ヲ完了シ直チニ設立登記ヲナスコト

九、本年度ノ漁獲物ノ關係

昭和六年九月末日迄ノ漁獲物ハ全部現營業者ノ所得トス

一〇、保證金及過剩料金ノ繼承ト其決濟

現營業者ガ極東漁業廳ヘ納付セル保證金ハ其儘新會社ニ繼承スルモノトス同時ニ各當  
業者力過去現在ニ發生セル違反行爲ニヨル過料、其他目下兩國間ニ懸案中ニ屬スル諸  
支拂金ハ一切之ヲ新會社ニ於テ引受クルモノトス。而シテ之等ノ決濟ハ現ニ露領水産  
組合ト極東漁業廳トノ間ニ於テ一漁區毎ニ清算ヲ行フヘキ筈ニツキ其レカ完了ヲ俟テ  
各營業者ノ提供セル漁業權ノ價格ノ二分ノ一ニ相當スル現金支拂ノ分ヨリ過不足ヲ決  
濟スルモノトス。

一一、仕込資金

新會社ノ要スル仕込資金ハ其年度ニ於ケル收穫物ノ全部ヲ擔保トシ株式會社朝鮮銀行  
株式會社北海道拓殖銀行、株式會社三菱銀行ニテ壹ケ年約壹千五百萬圓ノ金融ヲ受ク

ルコト。

一、製品販買取扱者

右ハ新會社ノ必要ニ應シ、其ノ販賣品ニ對シ之ヲ擔保トシテ時價ノ七掛ニ相當スル金融ヲ受クルコト。

一三、使用人ノ繼承

各當業者ノ使用人ハ事情ノ許ス限り可成新會社ニ繼承スルコト

一四、漁業ノ禁止

新會社ノ株主ハ露領陸岸水域ニ於テ漁業ヲ營マサルコト。

會社組織ノ概要

一、目的 日「ソ」漁業條約ニ基テ 邦人借區漁區全部ヲ合同スルモノトス

二、資本金 金四千萬圓也 全額拂込

内 譯

金壹千五百拾七萬餘圓也 東拓優先株

金貳千四百八拾貳萬餘圓也 日魯會社及其他ノ漁業者ノ引受株

以上



物件ノ買収案

一、個人漁業者漁區關係

一九三一年度借區現在一七四

罐詰工場八一—二ライン (一ライン 六八〇〇〇圓)

計

八、二五五、九〇〇圓

八一六、〇〇〇圓

九、〇七一、九〇〇圓

二、日魯會社漁區關係

一三四

罐詰工場二三—六四ライン及冷藏庫一二

計

一五、三一九、一〇〇圓

四、九六三、七六六圓

二〇、二八二、八六六圓

日魯內地關係

冷藏汽船 (別表)

土地建物 (別表)

有價證券 (別表)

計

三、九四八、五六七圓

二、三六六、九一六圓

二、七八八、二〇〇圓

九、一〇三、六八三圓

合計

二九、三八六、五四九圓

總計

三八、四五八、四四九圓

買收物件ノ支拂區分

買收總額

株式 三八、四五八、四四九圓  
現金 二四、八二二、八六六圓  
一三、六三五、五八三圓

内譯

個人漁業者ノ分

株式 九、〇七一、九〇〇圓  
現金 四、五四〇、〇〇〇圓

日魯會社ノ分

株式 四、五三一、九〇〇圓  
現金 二九、三八六、五四九圓  
二〇、二八二、八六六圓  
現金 九、一〇三、六八三圓

拂込現金勘定

一五、一七七、一三四圓

支出内譯

四、五三一、九〇〇圓

九、一〇三、六八三圓

一三、六三五、五八三圓

一、五四一、五五一圓

東拓優先株

個人漁業者買収金

日魯會社買収金

計

差引 残高

流動資金トス

一、買收目的物件

汽船 冷蔵

汽

別表

船 (第一號表参照)

汽船 數艘

三、九四八、五六七圓

土地建物其他

土地

三二四、三一五圓

(第二號表参照)

建物

六七三、二八四圓

(第三號表)

機械

一〇三、二四五圓

(第四號表)

什器

一二三、四三四圓

(第五號表)

漁船

七七、四五〇圓

(第六號表)

信濃丸

一五〇、〇〇〇圓

(第七號表)

冷藏庫

五二一、〇七五圓

(第八號表)

沖取關係其他

三九四、一一三圓

合計

二、三六六、九一六圓

有

價

證

券 (第十號表参照)

合計	鯨	シヨマ	鯨助	銀鯨	鱒	鮭	紅鮭	漁區數	
一三、二〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	1	1	三、二〇〇	二、〇〇〇	1	二五	沿海州及サガレン
六、五五〇	1	1	1	1	三、六〇〇	五、六四〇	一、五五〇	四六	オコツク及ギシカ
四、九三四五〇	1	1	1	六、七五〇	三、〇四、六〇〇	九、九〇五〇	八、三〇五〇	一二四	西勸察加
一、八八、三八〇	1	1	五、〇〇〇	六、五〇〇	三、九、一三〇	七、八、六〇〇	五、九、一五〇	九四	東勸察加
七、五五、五八〇石	四、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	一、三、二五〇	三、五〇、五三〇	二、三、六〇五〇	一、四、三、七五〇	二八九石	合計

昭和七年度漁獲豫定案

三口合計金

北海製罐	二、〇〇〇、〇〇〇圓
南樺太	四四五、〇〇〇圓
函館冷蔵庫	一六八、五〇〇圓
大湊冷蔵庫	六八、〇〇〇圓
日本工船	九四、二〇〇圓
日本水産	五、〇〇〇圓
日本漁網	七、五〇〇圓
合計	二、七八八、二〇〇圓

蟹	練	シヨマ	鯿助	銀鯿	鯿	鮭	紅鮭	總高	
八〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	一	五、〇〇〇	六〇、〇〇〇	八二九、〇〇〇	八一、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	一、六六五、〇〇〇	罐詰
一	〇	一	〇	一	一	一	一	三、〇一〇、〇〇〇	冷凍
一	〇	一	〇	一	一	〇	〇	二、七二五、〇〇〇	新巻
一	一	〇	一	一	一	〇	〇	一、三〇〇、〇〇〇	マイルトキテ
一	一	一	〇	〇	一	一	一	五、七七三、〇〇〇	改良
一	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	一、一五二、四〇〇	散
副産	一、七〇〇	一	"	"	"	"	副産	一、七〇〇	搾粕

(一)製品種類別豫定案

漁獲物處分豫定案

合計	蟹	キング	銀	鮭	鱒	紅	
五一、五〇〇	一、五〇〇					五〇、〇〇〇	四分ノ封度
五九一、七四〇	七四、五〇〇	四〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇		一二二、六九〇	三六〇、五五〇	半封度
六八三、七七〇	四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	八一、〇〇〇	三九九、三一〇	一七三、四六〇	一封度
三二七、九九〇			五〇、〇〇〇		三〇七、〇〇〇	一五、九九〇	立
一、六五五、〇〇〇	八〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	八一、〇〇〇	八二九、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	計

罐詰製造豫定案

合同會社收支計算內譯書

收入之部 (第十一號表參照)

鮭鱒輸出罐詰	一九、七一七、六九七、〇七
全 內地罐詰	三、六四二、八二五、〇〇
蟹 罐 詰	二、五五九、五七五、〇〇
鹽 魚	四、四二八、四九五、一二
冷 凍 品	三、〇六四、七二六、二〇
魚粕並副產物	八六一、一三一、五九
合 計	三四、二七四、四四九、九八

支出之部

事 業 費	二一、八二四、七六八、七五	(第十二號表參照)
製品販賣諸掛	四、一六九、五〇一、六六	(第十三號 " )
經 常 費	一、二三二、九三四、一四	(第十四號 " )
諸 稅 公 費	三三四、二六二、〇〇	
利 息	六〇四、〇五三、五五	



仕込關係ニ於テ現金所要高ヲ約一五、〇〇〇、〇〇〇圓トシ三菱商事會社、朝鮮銀行、北海道拓殖銀行ヨリ隨時融資ヲ受クルモノトス。

合計 二八、一六五、五二〇、一〇  
 差引利益 六、一〇八、九二九、八八

收支  
 收入 二八、一六五、五二〇圓  
 支出 三四、二七四、四四九圓  
 差引利益 六、一〇八、九二九圓  
 利益處分

純益 六、一〇八、九二九圓  
 消却 一、八〇〇、〇〇〇圓  
 差引 四、三〇八、九二九圓  
 法定積立 二一六、〇〇〇圓  
 諸積立 五〇〇、〇〇〇圓  
 重役 二六〇、〇〇〇圓  
 配當(七步) 二、八〇〇、〇〇〇圓  
 後期繰越金 五三二、九二九圓

一、此等積立金は、  
 一、今令入也

以上

冷蔵汽船内譯表 (第一號表)

船名	總噸數	進水年月	材質及汽機種類數	冷却機種類及數	評價格
長光丸	一、七九二、五八	大正一、一、二	鋼參聯成一	アムモニヤ間接二臺	五三七、七七四、〇〇
大光丸	一、七六五、九九	一、三、七	、	、	五二九、七九七、〇〇
豐光丸	一、五〇四、六八	一、二、三	、	、	四五〇、四〇四、〇〇
滿光丸	一、五〇二、五〇	一、二、二	、	、	四五〇、七五〇、〇〇
秩父丸	一、四六二、三八	一、二、五	、	三臺	四三八、七一四、〇〇
榛名丸	一、四六二、三八	一、二、五	、	、	四三八、七一四、〇〇
海光丸	一、五一五、七〇	一、一、七	、	二臺	四五四、七一〇、〇〇
幸光丸	一、五一四、九七	一、一、六	、	、	四五四、四九一、〇〇
東萊丸	六四〇、七一	一、一、二	、	、	一九二、二一三、〇〇
合計	一三、一六一、八九				三、九四八、五六七、〇〇

土地内譯表 (第二號表)

所在	坪數	單價	金額
函館市臺町	二、〇〇〇坪 六四	六〇〇	一二、〇〇三、八四
全 臺場町	八五八、八	四五〇〇	三八、六九一、〇〇
全 仲 町	一、〇四四、六	四五〇〇	四七、〇〇七、〇〇
全 七重濱	六五三、九五、六五	三四六強	二二六、六一三、一六
合 計			三二四、三一五、〇〇

建築物内譯表 (第三號表)

所在	建築物内譯表	坪數	單價	金額
函館事務所	所鐵筋コンクリート四階建一棟	一、一四一、一一三	五〇、〇〇三	九、三三八〇〇
函館市内倉庫	煉瓦張平家建	四一四	六七、八〇	二八、〇七九〇〇
全 臺場町工場	木造	一、〇九〇、九	五、八五	六三、七九六〇〇
全 番 屋	木造	八九五、五	四八、四〇	四三、〇九五〇〇
全 合 宿 所	木造	一三五、二五	二二、四〇	三、二九八〇〇
大曲募集事務所	木造	二二、〇〇	三〇、〇〇	六六〇〇〇
函館臺町製網所	木造 亞鉛葺	一一、二		九三、七〇四〇〇
全 七重濱造船所	木造 亞鉛葺	一、九		四一、二六四〇〇
計				六七三、二八四〇〇

機械器具内譯表 (第四號表)

函館市臺場町製作工場内据付製作機械器具一式	六八、三二五、九八
全 市七重濱造船所内据付製材造船機械器具一式	二六、七一、六七
全 市臺町製網所内据付機械器具一式	八、二〇七、八〇
合計	一〇三、二四五、四五

什器内譯表 (第五號表)

東京本社内備付電話機、椅子、其他什器一切	四一、二一六、五〇
函館事務所	六八、〇二一、〇〇
函館附屬醫院	九六〇、〇〇
函館臺町製網所	一、九四八、五〇
全 七重濱造船所	一、二六七、五〇
全 臺場町工場	二、一二三、〇〇
全 番 屋	七、九一七、五〇
合計	一二三、四三四、〇〇

漁船内譯表 (第六號表)

冷凍船作業用ランチ及モーター船	一一隻	三一、三五〇〇〇
港内用ランチ	五隻	二六、一〇〇、〇〇〇
無所屬ランチ	五隻分	二〇、〇〇〇、〇〇〇
合計		七七、四五〇、〇〇〇

信濃丸明細 (第七號表)

重量噸數	六、七四〇噸
製造地	英國
製造年	一九〇〇年
資格	一級
機關	双三聯成
速力	普通一二浬
所有者	日本郵船會社
評價	一五〇、〇〇〇、〇〇〇

冷蔵庫内譯表 (第八號表)

青森冷蔵庫	鐵筋コンクリート三階建	二七九、八一五〇〇
建築物	六三六坪三八及絶縁装置一式	一五、〇九五〇〇
電気機械	一式	八三、五八九〇〇
冷却機械	一式	二一、五〇一、〇〇〇
器具及什器	一式	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
小計		

芝浦冷蔵庫 木造平家建

建築物	五一四坪八及絶縁装置一式	八二、三〇〇、〇〇〇
電気機械	一式	三、九〇〇、〇〇〇
冷却機械	一式	三〇、五六〇、〇〇〇
器具及什器	一式	四三、一五〇、〇〇〇
小計		一二一、〇七五、〇〇〇
合計		五二一、〇七五、〇〇〇

會社名	日魯所有株數	額面	拂込	金額	評價
北海製罐倉庫	四〇、〇〇〇株	五〇〇圓	五〇〇圓	二、〇〇〇、〇〇〇圓	二、〇〇〇、〇〇〇圓
南樺太漁業	一〇、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇、〇〇〇	四四五、〇〇〇
函館冷蔵	六、七四〇	五〇〇	二五〇	一六八、五〇〇	一六八、五〇〇
大湊冷蔵	二、四〇〇	五〇〇	三〇〇	七二、〇〇〇	六八、〇〇〇
日本工船	一、八八四	五〇〇	五〇〇	九四、二〇〇	九四、二〇〇
日本水産冷蔵	五〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇、〇〇〇	五、〇〇〇
日本漁網船具	一五〇	五〇〇	五〇〇	七、五〇〇	七、五〇〇
合計					二、七八八、二〇〇圓

有價證券内譯表 (第十號表)

錫輸出罐詰收入内譯表 (第十一號表)

品名	數量	單價	金額
紅錫四分ノ一斤(一六打入)	五〇、〇〇〇函	三四〇四	一、七〇二、〇〇〇
・二分ノ一斤(八打入)	三六〇、五五〇	二五五八	九、二二二、八六九
・一斤	一七三、四六〇	二一二〇	三、六七七、三五二
・一斤堅罐	一五九九〇	二〇四七強	三、二七三、一七二
・二分ノ一斤	一二二、六九〇	一〇五二	一、二九〇、六九八
・一斤堅罐	三〇七、〇〇〇	七八八	二、四一九、一六〇
銀錫二分ノ一斤	三〇、〇〇〇	一七五四	五二六、二〇〇
・一斤	二五〇、〇〇〇	一五三四	三、八三三、五〇〇
・一斤堅罐	五〇〇、〇〇〇	一四六二	七三三、一〇〇
助二分ノ一斤	四〇〇、〇〇〇	一九四九	七七九、六〇〇
・一斤	一、〇〇〇	一七五四	一七、五四〇
計			一九、七一七、六九七

品 種  
鮭 一斤  
鱈 一斤

鮭鱈内地向罐詰収入内 譯表

數 量  
八一、〇〇〇  
三九九三、一〇〇

金 額  
六四八、〇〇〇  
二、九九四、八二五  
計 三、六四二、八二五

單 價  
八〇〇  
七五〇

罐詰収入内譯表

品 種  
フアンシー四分ノ一斤(八打入)  
・ 二分ノ一斤  
チヨイス  
パツスA  
・ B  
フアンシー 一斤  
チヨイス  
パツスA

數 量

單 價  
三、〇〇〇  
三、五七五  
一、三、四一〇  
一、四、九〇〇  
一、〇、四三〇  
一、九二〇  
七二〇  
八〇〇

金 額

六三、〇〇〇  
一、二三三、七二〇  
四、三五八、二五〇  
四、四七〇、〇〇〇  
二、六〇、七五〇  
六二、四〇〇  
二一、六〇〇  
二二、四〇〇

パツス B

五六〇  
二三〇

計 二、五五九、五七五

鹽魚収入内譯表

品 種  
改良鮭  
・ 銀 鮭  
・ 鱈  
・ シヨマ  
散 鮭  
散 鱈

正 味 重 量

一七二、〇五八、六〇  
三、一七七、六五〇、〇〇  
二二、〇五〇、〇〇  
二、六八四、九六四、八〇  
二、四、五〇〇、〇〇  
六、五一一、七七一、〇〇  
二、八四〇、〇六七、二二

單 價

九〇〇  
五五〇  
六〇〇  
四、五〇〇  
七〇〇  
四、五〇〇  
三、五〇〇

金 額

一、五四八、八五二、七四  
一、七四七、七〇七、五〇  
一、三、二三〇、〇〇  
一、二〇八、二三四、一六  
一、七、一五〇、〇〇  
二、九三二、九七一、九  
九、九四〇、二三三、五三  
計 四、四二八、四九五、一二



冷凍品收入内譯表

品種	處分數量	正味數量	單價	金額
冷凍鮭	二五〇〇〇石	一、二二九、六〇〇貫	七〇〇	八六〇、七二〇〇
冷凍助(東海洋)	五〇〇	一、二〇〇〇	一〇〇〇	一、二〇〇〇〇〇
冷凍鰹(沿海州)	七五〇	一尾二付	〇〇五	七五〇〇〇〇
新巻紅	三七六六	一二六、九一〇	一二〇〇	一五二、二九二〇
新巻鮭	七二、五八四	二、四七、八二六	七〇〇	一、七五七、三四七、八二〇
新巻シヨマ (沿海州)	二、二五〇	五九〇、四五	八〇〇	四七二、三六〇
マイルドキニア銀	三、五〇〇樽	一五〇〇〇	一五〇〇	四五〇〇〇〇
生粒	三、〇〇〇尾	二、三〇〇〇	〇〇三	六九〇〇〇〇
鮭	三、〇〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇〇
計				三、〇六四、七二六、二〇〇

魚粕並ニ副産品收入内譯表

品種	正味重量	單	價	金額
筋子	七二、三、九八、八、六二	十ノ	一〇三〇三	七四、五、九三、一〇九
魚粕	一、五、五、九、三石	百石	六二、九、八、五〇	九八、二、一、三〇〇
魚油	六、七、九、五函		二五〇	一、六、九、八、七、五〇

計 八六、一、一三、一五九

科 目

支拂運賃  
 積込積出諸掛  
 保 險 料  
 倉 敷 料  
 漁 區 租 借 料  
 諸 稅 公 費  
 給 料  
 賃 銀  
 越 年 費  
 雜 費  
 救 濟 費  
 召 募 費  
 冷 凍 作 業 費

事業費内譯表 (第十二號表)

科 目	金 額
支拂運賃	二〇一五七三三八五
積込積出諸掛	二五八五七一九三
保 險 料	二六七一八五三四
倉 敷 料	一二八八八七九九
漁 區 租 借 料	二六五四六六八八
諸 稅 公 費	二六〇二三九八八
給 料	四二五四七八六四
賃 銀	三六七六四四七七二
越 年 費	四六二八七四〇
雜 費	三七三六四四〇
救 濟 費	六五〇〇五〇三
召 募 費	二三七四五八九三
冷 凍 作 業 費	一、一二一、五三五四二

空 罐 費  
 食 鹽 費  
 荷 造 費  
 燃 料 費  
 消 耗 品 費  
 食 料 品 費  
 建 物 什 器 補 修 費  
 機 械 器 具 補 修 費  
 漁 船 補 修 費  
 漁 網 漁 具 補 修 費

五、一五六、六〇六、五六  
 七、五九、七九二、七〇  
 四、三一、五八〇、九一  
 四、七五、四二六、一九  
 五、四六、八八一、八五  
 五、三六、七五八、六〇  
 二、九八、九六三、二九  
 七、八〇、八二一、八二  
 二、〇七、一〇一、三二  
 一、四三、五九七、二二  
 二、一、八二四、七六八、七五

製品販賣諸掛内譯表 (第十三號表)

(一) 運 賃 八八七、五七三、八八  
 (二) 保 險 料 一五七、〇九九、〇五  
 (三) 倉 敷 料 八〇五、二六一、四四  
 (四) 販 賣 口 錢 一、一九六、九〇三、二〇  
 (五) 其 他 一、一二三、六六四、〇九  
 合 計 四、一六九、五〇一、六六

修繕費	廣告費	圖書費	印刷費	備品費	文具及消耗品費	通信費	家賃及地代	旅費	雜給	諸手当	俸給	重役報酬
-----	-----	-----	-----	-----	---------	-----	-------	----	----	-----	----	------

經常費内譯表(第十四號表)

六七四〇〇	九一六四〇	四一〇五〇	一五八六〇	二〇〇〇〇	一四五七六〇	三一七二四〇	二八五三一九二	三三三〇五〇	八九五一二八〇	二六五〇八〇〇	五〇五八〇〇〇	七〇〇〇〇〇
-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	---------	--------	---------	---------	---------	--------

金額

保 險 料	諸 手 數 料	諸 稅 公 費	交 際 費	寄 附 金	贈 答 費	合 宿 所 費	附 屬 醫 院 費	浦 沙 經 費	機 密 費	雜 費	合 計
-------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------	-------------	--------	--------

六〇七八二〇	二、七四七八四	三、四一〇八〇	二〇〇〇〇〇	一、六七二二九八	一、八九八四〇〇	二、四〇〇〇〇〇	三、六〇〇〇〇〇	二、五〇〇〇〇〇	六〇〇〇〇〇	二、四六五〇〇〇	一、二二二、九三、四一四
--------	---------	---------	--------	----------	----------	----------	----------	----------	--------	----------	--------------

